

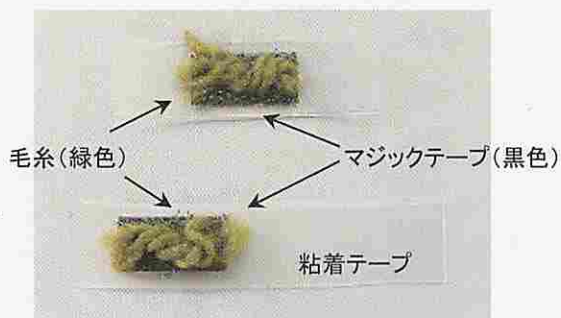
# 茶園におけるカンザワハダニ(害虫)の天敵である カブリダニ類の簡易調査法

北相地区事務所

茶栽培において、農薬散布を減らした環境に優しい栽培を行うためには、害虫に対する天敵の活躍が不可欠です。茶園では、害虫であるカンザワハダニの天敵として、カブリダニ類が知られています。

このカブリダニ類は、肉眼では小さな点にしか見えず、動きも速いので、50枚程度の茶葉を採ってルーペで観察して調査しています。しかし、この方法では、時間がかかり、雨の日にはカブリダニが見つけにくくなります。

そこで、2000年にナシ園の調査で開発されたカブリダニ捕獲用トラップ(ファイトトラップ)が茶園でも有効に活用できないか検討しました。ファイトトラップは、マジックテープに毛糸を絡めて、カブリダニが好む空間を作り、餌等は必要ないという特徴があります。ファイトトラップを茶の枝に付けて調査を行ったところ、設置したファイトトラップ1個から、茶葉約15枚分を調べるのと同じ数のカブリダニ類を見つけることができました。このことから、ファイトトラップは、茶園でも省力的で簡易にカブリダニ類の活動を確認できることが分かりました。



ファイトトラップ  
※マジックテープに毛糸を絡めたものを  
枝に巻きつけて使用



カブリダニ類

## 大型直売所の支援

横浜川崎地区事務所

平成20年4月に開店した川崎市麻生区黒川にあるJAセレサ川崎農業協同組合の大型直売所「セレサモス」は、平成22年1月には延べ来客数が50万人を突破し、現在3年目を迎えています。出荷登録者も開店当初の270名から平成22年10月には400名近くまで増加して、出荷物の地場産率は75%前後で推移しています。

この直売所に対し、横浜川崎地区事務所では、遊休農地の解消、出荷登録者の所得向上、地域の活性化、地産地消の推進を目的に、各部門で栽培や農産加工技術の向上について支援を行っています。

支援の一つに、関係機関と連携して作成した栽培マニュアル(83品目)があります。出荷作物の品目の増加と品質向上のために修正や追加を経て、栽培講習会資料として現在まで活用しています。

また、これまでの事例に基づいたクレーム対策についてのマニュアルを作成し、出荷者交流会において出荷登録者や農協事務局、関係機関へ提示するとともに安全安心な農産物の生産・販売を周知しました。

今後は出荷物の品質向上、地場産率向上、消費者ニーズへの対応等が課題ですが、関係機関と連携を取りながら解決を図っていく予定です。



POPも掲出された店内